

## 3. サッカー関連分野における社会動向

## (1) サッカーの競技人口

サッカーは、特に10代以下の男子児童にとって人気の高い種目となっており、バスケットボール、野球と並ぶ、青少年の3大人気スポーツとなっている。

4～9歳(幼稚園児～小学校4年生)までの男子にとっても、サッカーは人気の高いスポーツであり、水泳(スイミング)、野球と並んで人気が高い。

一方、成人においては、20代から70代にわたる広範な年齢層への調査であり、軽運動の方が、実施率が高くなっている。

全国に478万人の競技人口が存在し、県内においても約8,000人の競技人口(県サッカー協会登録者数)があって、多くのプレーヤーが存在している。

成人の種目別スポーツ実施率および推計人口(年1回以上)

順位	種目	実施率	推計人口
1	散歩(ぶらぶら歩き)	34.8%	3,613万人
2	ウォーキング	24.5%	2,544万人
3	体操(軽い体操、ラジオ体操など)	18.5%	1,921万人
4	ボウリング	13.3%	1,381万人
5	筋力トレーニング	11.5%	1,194万人
6	ゴルフ(コース)	9.0%	934万人
7	ジョギング・ランニング	8.5%	883万人
	釣り	8.5%	883万人
9	ゴルフ(練習場)	8.2%	851万人
10	キャッチボール	8.1%	841万人
11	海水浴	7.2%	748万人
	サイクリング	7.2%	748万人
	水泳	7.2%	748万人
14	バドミントン	6.8%	706万人
15	なわとび	5.5%	571万人
16	登山	4.9%	509万人
17	ハイキング	4.7%	488万人
18	サッカー	4.6%	478万人
19	卓球	4.5%	467万人
	野球	4.5%	467万人

※出典：スポーツライフデータ2010(笹川スポーツ財団)

10代のよく行ったスポーツ種目(2009年)

順位	種目	実施率
1	サッカー	20.1%
2	バスケットボール	18.3%
3	野球	17.4%
4	バドミントン	14.0%
5	筋力トレーニング	12.5%
6	バレーボール	12.3%
7	ジョギング・ランニング	11.9%
8	水泳(スイミング)	11.1%
9	卓球	9.2%
10	ドッジボール	9.0%
11	キャッチボール	8.5%
12	ソフトテニス(軟式)	7.5%
13	なわとび	7.0%
14	ウォーキング	7.0%
15	陸上競技	6.9%

※出典：青少年のスポーツライフデータ(笹川スポーツ財団)

第一章 計画条件の整理

4～9歳のスポーツ実施率(全体)

順位	種目	実施率
1	おにごっこ	29.7%
2	水泳(スイミング)	28.0%
3	サッカー	24.1%
4	ドッジボール	20.6%
5	なわとび	19.2%
6	かけっこ	14.5%
7	野球	12.6%
8	かくれんぼ	11.9%
9	キャッチボール	8.0%
10	一輪車	6.6%

4～9歳のスポーツ実施率(男子)

順位	種目	実施率
1	サッカー	43.1%
2	水泳(スイミング)	30.0%
3	おにごっこ	28.2%
4	野球	24.0%
5	ドッジボール	23.0%
6	かけっこ	14.9%
7	キャッチボール	14.1%
8	なわとび	10.2%
9	かくれんぼ	9.7%
10	空手	6.4%

4～9歳のスポーツ実施率(女子)

順位	種目	実施率
1	おにごっこ	34.8%
2	なわとび	31.5%
3	水泳(スイミング)	29.1%
4	ドッジボール	20.3%
5	かくれんぼ	15.6%
	かけっこ	15.6%
7	一輪車	13.6%
8	鉄棒	9.1%
9	バドミントン	6.9%
10	サッカー	5.8%

※出典：子供のスポーツライフデータ(笹川スポーツ財団)

沖縄県サッカー協会登録チーム数・登録者数

種別		チーム数	男子	女子	選手合計
第1種	J1				
	J2				
	JFL	1	23		23
	社会人連盟	74	1,652		1,652
	大学連盟	4	127		127
	専門連盟				
	高专連盟	1	39		39
	その他				
第1種 計		80	1,841		1,841
第2種	高体連	38	1,386		1,386
	クラブユース連盟				
	その他				
第2種 計		38	1,386		1,386
第3種	中体連	30	1,035	17	1,052
	クラブユース連盟	7	169		169
	その他				
第3種 計		37	1,204	17	1,221
第4種		131	2,727	96	2,823
女子	Lリーグ				
	一般	3		60	60
	レディース				
	大学				
	高校	14		259	259
	クラブ(高校生)	2		62	62
	中学	3		52	52
	クラブ(中学生)				
少女(小学生)	1		10	10	
女子 計		23		443	443
シニア		11	239		239
合計		320	7,397	556	7,953

(平成23年4月30日現在)

## (2) サッカーの観戦活動

スポーツ観戦活動については、直接或いはテレビによる観戦、各年代の観戦種目など、あらゆる分野において、プロ野球が最も観戦率の高い種目である。

サッカーについては、成人の観戦率の中で、“プロ野球”、“プロ野球以外の野球”に次いで“Jリーグ”が多く、457万人の観戦者が存在し、平均2.26回/年、会場に足を運んでいる。これによる観客数は、延べ1,032万人と推計される。

一方で、会場に足を運ぶほど熱心ではないが、テレビで応援する観客も多く存在している。10代のテレビによる観戦を希望するスポーツでは“日本代表戦”が“プロ野球”に次いで第2位となっている。このようにテレビによるスポーツ観戦の場合、“Jリーグ”よりも“日本代表戦”の方が、人気が高い。

## 成人の直接スポーツ観戦率（全体）

順位	観戦種目	観戦率	推計人口	観戦頻度	推計動員数
1	プロ野球	16.2%	1,682万人	2.24回/年	3,768万人
2	野球(プロ野球以外)	6.4%	664万人	5.18回/年	3,442万人
3	Jリーグ	4.4%	457万人	2.26回/年	1,032万人
4	マラソン・駅伝	4.2%	436万人	1.54回/年	672万人
5	サッカー(プロサッカー以外)	3.3%	343万人	8.84回/年	3,029万人
6	プロゴルフ	2.2%	228万人	1.81回/年	413万人
7	バレーボール	2.0%	208万人	4.11回/年	853万人
8	競馬	1.5%	156万人	5.45回/年	849万人
	陸上競技	1.5%	156万人	2.27回/年	354万人
10	大相撲	1.3%	135万人	1.27回/年	171万人
11	ラグビー	1.2%	125万人	6.74回/年	840万人
12	バスケットボール	1.0%	104万人	4.22回/年	438万人
13	K-1などの格闘技	0.9%	93万人	1.88回/年	176万人
14	サッカー日本代表試合(五輪代表含む)	0.7%	73万人	1.08回/年	78万人
	フィギアスケート	0.7%	73万人	1.09回/年	79万人

※出典：スポーツライフデータ2010(笹川スポーツ財団)

## 10代の直接スポーツ観戦率

順位	観戦種目	観戦率
1	プロ野球	15.0%
2	野球(高校、大学など)	11.6%
3	バスケットボール(高校、大学など)	7.3%
4	バレーボール	6.5%
5	Jリーグ	5.8%
6	サッカー(高校・大学など)	4.4%
7	陸上競技	3.6%
8	マラソン・駅伝	2.9%
9	水泳	1.0%
10	サッカー日本代表試合(五輪代表を含む)	0.9%
11	剣道	0.9%
12	ハンドボール	0.8%
13	バドミントン	0.7%
	ラグビー	0.7%
	硬式テニス	0.7%
16	卓球	0.6%
17	海外のプロサッカー(ヨーロッパ、南米)	0.5%
	バスケットボール(社会人)	0.5%
19	ソフトテニス(軟式)	0.4%
	ソフトボール	0.4%
	柔道	0.4%

※出典：青少年のスポーツライフデータ(笹川スポーツ財団)

## 第一章 計画条件の整理

### 成人のテレビによるスポーツ観戦率(全体)

順位	観戦種目	観戦率
1	プロ野球	65.1%
2	フィギュアスケート	58.9%
3	高校野球	53.9%
4	マラソン・駅伝	50.6%
5	大相撲	44.8%
6	プロゴルフ	39.8%
7	サッカー日本代表試合(五輪代表含む)	38.3%
8	Jリーグ	27.9%
9	K-1などの格闘技	27.6%
10	野球の国際試合(WBC、アジアリーグ等)	25.7%
11	アメリカ大リーグ	25.1%
12	競馬	15.1%
13	高校サッカー	13.4%
14	F1やNASCARなどの自動車レース	12.1%
15	海外プロサッカー(欧州、南米など)	11.3%
16	ラグビー	7.3%
17	プロバスケットボール(NBAなど)	5.8%
18	バレーボール	2.9%
	テレビで観戦した種目はない	5.6%

※出典：スポーツライフデータ2010(笹川スポーツ財団)

### 10代のテレビによる観戦を希望するスポーツ

順位	観戦種目	観戦率
1	プロ野球	26.4%
2	サッカー日本代表試合(五輪代表を含む)	20.1%
	バレーボール	20.1%
4	フィギュアスケート	19.1%
5	野球(高校、大学など)	18.6%
6	メジャーリーグ(アメリカ大リーグ)	15.3%
7	海外のプロバスケット(NBAなど)	13.8%
8	海外のプロサッカー(ヨーロッパ、南米)	12.4%
9	Jリーグ	12.3%
10	バスケットボール(高校、大学など)	11.9%
11	水泳	11.8%
12	陸上競技	9.2%
13	サッカー(高校、大学など)	7.4%
14	マラソン・駅伝	6.8%
15	バドミントン	1.1%
	硬式テニス	1.1%
	卓球	1.1%

※出典：青少年のスポーツライフデータ(笹川スポーツ財団)

## (3) Jリーグの観客動員数

## 〔J1・J2の観客動員数について〕

Jリーグは発足以来、観客の実数を発表しており、入場者数は信頼のおける数値と考えられる。この中で“浦和レッズ”、“アルビレックス新潟”の入場者数が際立っており、一試合平均で3～4万人の観客動員数がある。

J1全体では、平均18,000人であり、J2では6,700人の入場者数がある。

## 〔イレブンミリオンプロジェクト〕

スタジアムには、多くの観客が訪れることで、熱狂が生まれ、最高のプレーを演出する舞台が整う。

Jリーグは1993年の開幕以来多くのサポーターを集めてきたが、2006年に初めて観客数が減少し、このことを受け、2007年シーズンから2010年のシーズンを目標に、Jリーグ全体で1100万人(イレブンミリオン)の観客が集められるよう様々な取り組みを行ったのが「イレブンミリオンプロジェクト」である。

この中では、観戦に訪れるサポーターへのホスピタリティーの向上や各クラブのホームタウン活動の充実など、Jリーグ38クラブが一体となって取り組み、2009年には過去最高となる957万人の観客を集めるに至った。惜しくも2010年には864万人と減少したが、Jリーグが一丸となって、魅力あるスタジアム、愛されるクラブづくりに努めたことは、今後につながる活動であったと考えられる。

2010年J1クラブ別入場者数

No.	名称	合計	最多	最少	平均	成績
1	浦和	678,994	55,410	21,625	39,941	10位
2	新潟	519,221	41,002	19,152	30,542	9位
3	横浜M	436,624	43,025	12,184	25,684	8位
4	F東京	426,899	30,672	17,477	25,112	16位
5	鹿島	356,430	35,251	9,472	20,966	4位
6	名古屋	339,638	34,098	7,991	19,979	優勝
7	川崎	315,550	22,407	7,348	18,562	5位
8	清水	306,022	38,851	7,117	18,001	6位
9	仙台	294,644	26,391	12,119	17,332	14位
10	G大阪	283,111	20,973	9,093	16,654	2位
11	C大阪	255,439	37,860	8,041	15,026	3位
12	広島	247,550	23,948	5,334	14,562	7位
13	神戸	218,004	19,506	8,707	12,824	15位
14	磐田	206,324	31,266	7,030	12,137	11位
15	山形	199,069	20,231	7,019	11,710	13位
16	湘南	188,614	14,095	6,032	11,095	18位
17	大宮	188,088	29,575	7,831	11,064	12位
18	京都	178,673	15,222	6,818	10,510	17位
	全体	5,638,894	55,410	5,334	18,428	

2010年J2クラブ別入場者数

No.	名称	合計	最多	最少	平均	成績
1	甲府	223,309	16,431	10,316	12,406	2位
2	千葉	210,394	18,031	8,381	11,689	4位
3	札幌	193,280	26,875	5,429	10,738	13位
4	大分	188,340	14,518	4,594	10,463	15位
5	福岡	158,777	14,713	5,012	8,821	3位
6	柏	145,766	10,768	6,844	8,098	優勝
7	岡山	128,900	11,290	4,025	7,161	17位
8	熊本	124,317	16,098	2,803	6,907	7位
9	鳥栖	119,392	12,301	3,658	6,633	9位
10	横浜C	104,230	10,809	3,553	5,791	6位
11	東京V	100,297	25,110	2,512	5,639	5位
12	徳島	83,057	11,115	2,117	4,614	8位
13	富山	80,327	10,726	2,542	4,463	18位
14	草津	79,638	9,382	2,232	4,424	12位
15	愛媛	78,945	10,630	2,787	4,386	11位
16	北九州	75,393	7,470	2,389	4,189	19位
17	栃木	74,821	6,933	1,913	4,157	10位
18	水戸	64,949	10,181	1,456	3,608	16位
19	岐阜	55,950	5,133	2,006	3,108	14位
	全体	2,290,082	26,875	1,456	6,696	

## 第一章 計画条件の整理

### (4) 沖縄県内の主なサッカー大会

#### 1) 沖縄県サッカー協会主催

沖縄県内では社会人、大学生、高校生、中学生、ジュニア、シニア、女子など、多くの大会が開催され、多くの選手がプレーやトレーニングを実施している。

沖縄県内で開催される主なサッカー大会は以下のとおりである。

#### 沖縄県で開催されている主なサッカー大会(沖縄県サッカー協会主催)

<b>社会人</b>
県社会人サッカー選手権大会、全国クラブチームサッカー選手権県大会、タイムス杯争奪県サッカー選手権大会、サマーサッカーフェスティバル、県民体育大会サッカー競技、ウィンターサッカーフェスティバル、県職域サッカー大会、沖縄県ミドル(0-35)サッカー選手権・リーグ、沖縄県サッカー感謝祭
<b>県リーグ</b>
OTV 杯争奪サッカーリーグ
<b>シニア</b>
沖縄県シニアサッカーリーグ、沖縄県 0-50 シニアサッカーリーグ、伊江朝睦杯沖縄県シニアサッカー選手権
<b>大学生</b>
沖縄県大学トーナメント大会、沖縄県学生サッカーリーグ、沖縄県学生サッカー選手権大会、沖縄県大学新人サッカー大会
<b>高校生</b>
沖縄県波布 U-18 リーグ、沖縄県サッカー祭り U-16 大会、全国高校サッカー選手権大会沖縄大会、沖縄県高等学校総合体育大会、沖縄県高等学校定時制・通信制夏季体育大会、沖縄県高等学校定時制・通信制秋季体育大会、沖縄県高等学校新人体育大会
<b>中学生</b>
県中学夏季総体サッカー競技、県ユース(U-15)サッカー選手権大会、中学生(U-14)トレセン大会、沖縄県中学校(U-14)サッカー大会、沖縄県 U-15 サッカーリーグ、県選抜中学生(U-13)トレセン大会
<b>ジュニア</b>
全日本少年サッカー大会沖縄県大会、新報児童オリンピック(4年生以下)、北中城村長杯沖縄県選抜、おきぎんJカップ(U-12)、JA 共催カップ第 25 回(U-11)
<b>女子</b>
九州なでしこサッカー大会県予選、九州女子ユース(U-15)サッカー選手権大会県予選、沖縄県中学校女子(夏季)サッカー選手権大会、沖縄県サッカー祭り女子の部、九州女子サッカー選手権大会県予選、九州女子ユース(U-18)サッカー選手権大会県予選、九州ガールズエイト(U-12)サッカー選手権大会県予選、沖縄県中学校女子(冬季)サッカー選手権大会、KBC 学園杯争奪第 22 回沖縄県女子サッカー選手権大会
<b>市町村</b>
市町村対抗女子サッカー大会
<b>九州大会</b>
九州サッカーリーグ、天皇杯全日本サッカー選手権大会、九州中学校(U-14)サッカー大会九州トレセン交流大会、チビリンピック九州 8 人制サッカー大会、九州ジュニアサッカー(U-12)大会、九州女子ユース(U-18)サッカー選手権大会、九州各県フットサルリーグ決勝大会

※沖縄県サッカー協会資料より、一部改変。

## 2) 2011 年の FC 琉球の試合結果

県内のサッカー大会としては JFL の FC 琉球が J リーグ加盟を目指し、定期的に試合を行っている。FC 琉球の今期の試合結果は以下のとおりであり、14 勝 15 敗 4 引分、勝点 46 でリーグ 9 位の成績を残している。

FC 琉球 2011 年の試合結果

No.	節	日付	対戦相手	試合結果	試合会場
1	前期 7 節	4 月 23 日(土)	V・ファーレン長崎	○3-1	長崎 長崎市
2	前期 8 節	4 月 29 日(金・祝)	Honda FC	○1-0	沖縄市陸
3	前期 9 節	5 月 3 日(火・祝)	町田ゼルビア	●1-5	東京 町田
4	前期 10 節	5 月 8 日(日)	SAGAWA SHIGA FC	○2-1	沖縄市陸
5	前期 11 節	5 月 15 日(日)	カマタマーレ讃岐	●1-2	香川 香川サ
6	前期 12 節	5 月 22 日(日)	アルテ高崎	○3-2	北谷
7	前期 13 節	5 月 28 日(土)	ジェフリザーブズ	○2-0	千葉 市原
8	前期 14 節	6 月 5 日(日)	栃木ウーヴァ FC	○4-0	沖縄市陸
9	中止	6 月 11 日(土)	ソニー仙台 FC	中止	宮城 七ヶ浜
10	前期 16 節	6 月 19 日(日)	ホンダロック SC	●0-2	沖縄市陸
11	前期 17 節	6 月 25 日(土)	横河武蔵野 FC	○2-1	東京 武蔵野
12	後期 1 節	7 月 3 日(日)	Honda FC	●1-2	静岡 都田
13	後期 2 節	7 月 10 日(日)	町田ゼルビア	△0-0	北谷
14	後期 3 節	7 月 16 日(土)	SAGAWA SHIGA FC	●1-2	滋賀 佐川守山
15	後期 4 節	7 月 24 日(日)	カマタマーレ讃岐	○2-0	北谷
16	後期 5 節	7 月 31 日(日)	アルテ高崎	○2-1	群馬 浜川
17	後期 6 節	8 月 7 日(日)	ジェフリザーブズ	●0-2	沖縄市陸
18	前期 4 節	8 月 10 日(水)	ブラウブリッツ秋田	●0-1	北谷
19	前期 5 節	8 月 31 日(水)	松本山雅 FC	●0-1	長野 松本球
20	前期 3 節	9 月 7 日(水)	ツエーゲン金沢	○3-0	石川 金沢
21	後期 7 節	9 月 11 日(日)	栃木ウーヴァ FC	△2-2	栃木 栃木市
22	後期 9 節	9 月 25 日(日)	松本山雅 FC	●0-1	沖縄市陸
23	後期 10 節	10 月 1 日(土)	ブラウブリッツ秋田	○1-0	秋田 秋田球
24	後期 11 節	10 月 16 日(日)	ツエーゲン金沢	△1-1	北谷
25	後期 12 節	10 月 23 日(日)	横河武蔵野 FC	△1-1	沖縄市陸
26	後期 8 節	10 月 26 日(水)	ソニー仙台 FC	○4-0	沖縄市陸
27	後期 13 節	10 月 30 日(日)	ホンダロック SC	○4-0	宮崎 延岡西階
28	後期 14 節	11 月 6 日(日)	V・ファーレン長崎	●1-3	沖縄市陸
29	後期 15 節	11 月 13 日(日)	佐川印刷 SC	●4-1	和歌山 桃源郷
30	後期 16 節	11 月 20 日(日)	MIO びわこ草津	○2-1	滋賀 甲賀
31	前期 6 節	11 月 23 日(水・祝)	佐川印刷 SC	●0-4	沖縄市陸
32	後期 17 節	11 月 27 日(日)	AC 長野パルセイロ	●0-4	沖縄市陸
33	前期 2 節	12 月 4 日(日)	AC 長野パルセイロ	●1-3	長野 南長野
34	前期 1 節	12 月 11 日(日)	MIO びわこ草津	●1-4	沖縄市陸

※ はアウェイ(県外試合)を示している。

(5) 沖縄県のサッカー競技レベル

過去の沖縄県のサッカー競技レベルは、全国的に見ると、際立った存在ではなかった。

しかし、2000年以降、関係者の努力により徐々に競技レベルがアップしてきており、特に那覇西高校が、全国高校サッカー選手権で活躍するようになり、同時に、沖縄出身のJリーガーも徐々に増えている。

しかし、沖縄県において、有望な選手のうち何人かは中学卒業後、他地域の高校に進学し、そこから、プロ入りを目指す選手も多いのが現状であり、有望選手の受け皿と幼少からトップ選手まで、一貫した育成システムの構築が喫緊の課題である。

全国高校サッカー選手権出場校

年度	大会	出場校	成績
1976	第55回	豊見城	2回戦進出
1977	第56回	中部農林	初戦敗退
1978	第57回	コザ	初戦敗退
1979	第58回	前原	初戦敗退
1980	第59回	北谷	初戦敗退
1981	第60回	西原	初戦敗退
1982	第61回	浦添	初戦敗退
1983	第62回	中部工	初戦敗退
1984	第63回	与勝	2回戦進出
1985	第64回	知念	初戦敗退
1986	第65回	与勝	2回戦進出
1987	第66回	小禄	2回戦進出
1988	第67回	西原	初戦敗退
1989	第68回	那覇西	2回戦進出
1990	第69回	西原	初戦敗退
1991	第70回	与勝	初戦敗退
1992	第71回	南部農林	2回戦進出
1993	第72回	那覇西	初戦敗退
1994	第73回	那覇西	準々決勝進出
1995	第74回	与勝	初戦敗退
1996	第75回	宜野湾	初戦敗退
1997	第76回	那覇西	2回戦進出
1998	第77回	宜野湾	初戦敗退
1999	第78回	具志川	初戦敗退
2000	第79回	宮古	2回戦進出
2001	第80回	与勝	初戦敗退
2002	第81回	那覇西	2回戦進出
2003	第82回	那覇西	初戦敗退
2004	第83回	那覇西	3回戦進出
2005	第84回	那覇西	初戦敗退
2006	第85回	那覇西	3回戦進出
2007	第86回	那覇	3回戦進出
2008	第87回	那覇西	3回戦進出
2009	第88回	南風原	初戦敗退
2010	第89回	那覇西	3回戦進出

沖縄県出身Jリーガー

入団年	氏名	出身校	所属クラブ	ポジション
1993	石川研	沖縄国際大	名古屋グランパス	GK
1995	喜名哲裕	那覇西高	名古屋グランパス	MF
1999	我那覇和樹	宜野湾高	川崎フロンターレ	FW
2003	仲里航	那覇西高	ヴィッセル神戸	DF
2004	上里一将	宮古高	コンサドーレ札幌	MF
2005	赤嶺真吾	小禄中→駒沢大	FC東京	FW
2006	安里光司	那覇西高	ジェフユナイテッド千葉	MF
2006	エルサムニー・オサマ	琉球大付属中	モンテディオ山形	FW
2007	當間建文	小禄中→東海大五高	鹿島アントラーズ	DF
2007	内間安路	北中城高→宮崎産業経営大	サガン鳥栖	DF
2008	下地奨	青山学院大	サガン鳥栖	MF
2009	上里琢文	宮古高	京都サンガFC	FW
2009	上原慎也	沖縄大	コンサドーレ札幌	FW
2009	久場光	安岡中→流通経済大付属柏高	名古屋グランパス	FW
2009	田口泰士	小禄中→流通経済大付属柏高	名古屋グランパス	MF



## (6) 沖縄県におけるトレーニングキャンプ

## 1) 沖縄県で実施されたＪリーグキャンプ(2010年以前)

沖縄県においてはこれまでにいくつかのクラブが、キャンプを実施しているが、ピッチのコンディションが悪いことなどを理由に、2～3年で別の場所に移ってしまい、定着しきれていないという現状があった。

温暖な気候や宿舍と競技場が近接した環境は、キャンプ地としてポテンシャルは高いが、プロの利用に見合った品質のピッチがほとんどなく、Ｊリーグ各クラブから、「利用したくとも利用できない」と評価されている。

サッカーはトレーニングマッチによって、コンディションを作っていくため、キャンプ地に多くのクラブが集積することが重要であり、対戦相手の少ない現状は魅力を損なう要因となっていた。

2010年以前に沖縄県で実施された主なＪリーグのキャンプは以下の通りである。

## 近年沖縄県内で実施されたＪリーグキャンプ

クラブ名	2006	2007	2008	2009	2010
横浜FC					沖縄市 宮古島市
FC東京	石垣市	石垣市			
湘南ベルマーレ		恩納村	恩納村	恩納村	
アビスパ福岡	恩納村 石垣市				
ジェフユナイテッド市原・千葉				石垣市	石垣市
コンサドーレ札幌		恩納村 国頭村			

※恩納村は赤間総合運動公園、沖縄市は沖縄県総合運動公園、石垣市はサッカーパークあかかんま、宮古島市は多目的前福運動場、国頭村はふれあい広場が使用施設となっている。

## 2) 美ら島サッカーキャンプ

前述のようにＪリーグ各クラブからのニーズはあるものの、施設やトレーニングマッチの相手が少なく、サッカーキャンプの集積が進まなかった中、2011年よりFC琉球が沖縄県の“スポーツ・ツーリズム推進事業”を活用して実施した「美ら島サッカーキャンプ」は、サッカーキャンプの集積に大きな役割を果たしつつある。

FC琉球は日本、中国、韓国の各クラブの誘致と、キャンプに使用する施設等の手配、運営サポート、各クラブ間のトレーニングマッチのマッチメイクを行い、結果、2010年度は7クラブが、2011年度は代表を含む12クラブが合宿に訪れ、延べ宿泊日数で2010年度の3,736泊から4,421泊になり、118%の伸び率であった。

こうしたエージェントの存在は、サッカーキャンプを定着させる上で貴重な役割があり、特にサッカーキャンプのように練習相手の有無が、キャンプ地としての魅力に直結するような競技の場合、今後の発展が大いに期待される取り組みである。

以下に2010・2011年度のキャンプ実績、トレーニングマッチ実績を示す。

## 第一章 計画条件の整理

### 美ら島サッカーキャンプ 2011 実績 (2010 年度実施)

クラブ名	使用施設	備考
<b>Jリーグ</b>		
サンフレッチェ広島	本部町民陸上競技場	11泊×46名=506泊
ファジアーノ岡山	具志川多目的競技場	14泊×51名=714泊
ジェフユナイテッド市原・千葉	サッカーパークあかんま	8泊×49名=392泊
横浜FC	前福多目的陸上競技場	7泊×40名=280泊
<b>韓国Kリーグ</b>		
済州ユナイテッド	具志川多目的競技場	10泊×51名=510泊
釜山アイパーク	国頭陸上競技場	16泊×44名=704泊
<b>中国スーパーリーグ</b>		
大連実徳	本部町民陸上競技場/西原町民陸上競技場	18泊×35名=630泊

### 美ら島サッカーキャンプ 2011 トレーニングマッチ (2010 年度実施)

試合日	対戦チーム	試合形式	会場
1月27日(木)	釜山アイパーク 0-1 FC琉球	30分×3	国頭
1月30日(日)	ファジアーノ岡山 2-2 釜山アイパーク	45分×3	具志川
1月30日(日)	横浜FC 0-0 FC琉球	30分×3	宮古島
2月1日(火)	ジェフユナイテッド市原・千葉 2-1 FC琉球	45分×2	石垣島
2月2日(水)	ジェフユナイテッド市原・千葉 5-1 FC琉球	45分×2	石垣島
2月2日(水)	サンフレッチェ広島 1-3 釜山アイパーク	35分×3	本部
2月5日(土)	ジェフユナイテッド市原・千葉 3-2 ファジアーノ岡山	45分×3	西原
2月6日(日)	サンフレッチェ広島 1-5 釜山アイパーク	45分×3	本部
2月7日(月)	釜山アイパーク 2-2 済州ユナイテッド	40分×3	国頭
2月9日(水)	大連実徳 2-3 釜山アイパーク	45分×2	西原
2月9日(水)	サンフレッチェ広島 1-0 済州ユナイテッド	45分×2	本部
2月12日(土)	済州ユナイテッド 2-2 大連実徳	45分×4	本部
2月14日(月)	済州ユナイテッド 1-1 FC琉球	45分×2	西原
2月17日(木)	大連実徳 0-1 FC琉球	45分×2	本部
2月20日(日)	大連実徳 1-2 海邦銀行	45分×2	本部

### 美ら島サッカーキャンプ 2012 実績 (2011 年度実施)

クラブ名	使用施設	備考
<b>代表</b>		
U-15 日本代表	本部町民陸上競技場	6日/41名(205泊)
<b>Jリーグ</b>		
ガンバ大阪	サッカーパークあかんま	7日/54名(324泊)
ジェフユナイテッド市原・千葉	サッカーパークあかんま 西原町民陸上競技場	13日/48名(576泊)
サンフレッチェ広島	本部町民陸上競技場	13日/50名(600泊)

サガン鳥栖	読谷村陸上競技場	11日/46名(460泊)
FC東京	国頭陸上競技場	7日/68名(408泊)
<b>韓国Kリーグ</b>		
水原三星	西原町民陸上競技場 東崎運動公園	13日/50名(600泊)
済州ユナイテッド	ごさまる陸上競技場(中城村吉の浦)	12日/53名(583泊)
<b>中国甲級リーグ</b>		
深圳紅鑽	南城市玉城陸上競技場	5日/38名(152泊)
<b>その他</b>		
INAC神戸(なでしこリーグ)	読谷村陸上競技場	7日/32名(192泊)
スカイブルーFC(米国女子)	キャンプフォスター	4日/25名(75泊)
慶応義塾大学(関東大学1部)	読谷村陸上競技場	7日/41名(246泊)

## 美ら島サッカーキャンプ2012 トレーニングマッチ(2011年度実施)

試合日	対戦チーム	試合形式	会場
1月29日(日)	ジェフユナイテッド市原・千葉 1-1 FC琉球	30分×3	石垣島
2月3日(金)	サガン鳥栖 5-0 FC琉球	30分×4	読谷
2月5日(日)	サンフレッチェ広島 2-4 FC琉球	30分×3	本部
2月5日(日)	サガン鳥栖 1-3 ジェフユナイテッド市原・千葉	30分×4	読谷
2月7日(火)	ジェフユナイテッド市原・千葉 0-2 水原三星	45分×2	西原
2月7日(火)	FC東京 8-2 FC琉球	45分×2 30分×1	国頭
2月7日(火)	サガン鳥栖 1-1 済州	45分×4	読谷
2月8日(水)	ジェフユナイテッド市原・千葉 3-1 水原三星	45分×2	西原
2月9日(木)	サンフレッチェ広島 1-0 水原三星	40分×2	本部
2月10日(金)	FC東京 1-2 済州	45分×2	国頭
2月10日(金)	サガン鳥栖 0-1 済州	45分×2	読谷
2月11日(土)	サガン鳥栖 1-2 水原三星	45分×2	読谷
2月13日(月)	水原三星 2-0 FC琉球	45分×2	西原
2月14日(火)	済州 4-1 慶応大	45分×3	吉の浦
2月14日(火)	済州 2-1 FC琉球	45分×2	吉の浦
2月15日(水)	水原三星 4-1 慶応大	45分×2	西原
2月17日(金)	水原三星 6-1 慶応大	45分×2	西原
2月19日(日)	FC琉球 6-3 慶応大	45分×4	読谷
3月8日(木)	FC琉球 5-0 深圳紅鑽	30分×3	南城

## 第一章 計画条件の整理

### 3) アマチュアの合宿

沖縄県は温暖な気候があり、また、プロ野球をはじめ、多くのスポーツ選手が合宿地として選定している知名度から、沖縄で合宿をしたいというニーズは高く、特に野球や陸上競技のアマチュア選手の合宿者数が多い。

しかし、サッカーについては、ニーズと比較して、実際に合宿を行っているアマチュアチームが少ないが、これは受け入れ可能な施設が未整備な状況に起因し、ニーズに応えきれていない現状がある。

参考に野球、陸上競技のアマチュア合宿件数を示すが、施設の整備が進むことで、社会人や大学を中心とした利用が期待できる。

サッカーアマチュア合宿件数 (年度)

	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	計
社会人	1				4	1	1					4	5	16
大学		1	1			1	1	2					1	7
高校											1			1
中学							1				1			2
小学			1					1						2
アマ合同		2					1		1					4
その他						1								1
計	1	3	2	0	4	3	4	3	1	0	2	4	6	33

野球アマチュア合宿件数(参考) (年度)

	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	計
社会人	6	8	4	5	4	6	6	2	2	7	3	3	3	59
大学	22	26	25	32	27	23	25	22	23	34	25	21	21	326
高校	4	4	17	15	20	7	7	5	7	2	13	13	18	132
中学									2		1	1		4
小学		1						1			1	1		4
アマ合同													2	2
専門学校		2												
その他														0
計	32	41	46	52	51	36	38	30	34	43	43	39	44	529

陸上競技アマチュア合宿件数(参考) (年度)

	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	計
社会人	13	7	8	10	7	18	16	22	16	14	62	22	34	249
大学	5	7		2	9	14	17	20	19	20	20	23	34	190
高校						2	2	1	2	1	3	1	7	19
中学														0
小学														0
アマ合同	19	22	18	35	24	8	14	17	15	4	14		14	204
ジュニア							1	3	2	1	1		1	
その他							1						3	4
計	37	36	26	47	40	42	51	63	54	40	100	46	93	675

※出典：スポーツコンベンション開催実績一覧(沖縄県スポーツコンベンション振興協議会)

(7) サッカースタジアム及び陸上競技場におけるイベント実施状況

サッカースタジアムは大規模な集客を伴う施設であり、イベント会場として適している。しかし、現状では芝の養生のため、自由度が劣ることや規模が大きすぎるため利用を選んでしまい、イベント利用はそれほど多くないと言われている。

以下に国内のサッカースタジアム、陸上競技場で実施された主なイベントの実施状況を示す。

■ サッカースタジアム及び陸上競技場で行われたイベント実施状況

種別	所在地	会場名	イベント名	開催年度	動員数	備考
J・複	北海道	札幌ドーム	サイモン&ガーファンクル札幌公演	2009年7月	40,000人	(公演期間:1日)
			ポケモンセンターふゆまつり	2010年1月	50,000人	アニメ・漫画関係 (公演期間:3日)
			SMAP 札幌公演	2010年8月	100,000人	(公演期間:2日)
			ARASHI 札幌公演	2010年11月	100,000人	(公演期間:2日)
			ワンピース ドームツアー	2011年6月		アニメ・漫画関係 (公演期間:3日)
			DREAMS COME TRUE 札幌公演	2011年7月	43,000人	(公演期間:1日)
			ARASHI 札幌公演	2011年7月	100,000人	(公演期間:2日)
			小田和正 札幌公演	2011年9月	40,000人	(公演期間:1日)
J・陸	宮城	宮城県総合運動公園陸上競技場	EXILE 全国ツアー	2010年7月	50,000人	(公演期間:1日)
複	宮城	東北電力名取スポーツパーク	a-nation '07	2007年7月		avex 主催野外フェス (公演期間:1日)
			Mr.Children 全国ツアー	2007年8月		(公演期間:2日)
陸	東京	国立霞ヶ丘陸上競技場	DREAMS COME TRUE 東京公演	2007年9月	120,000人	(公演期間:2日)
			ARASHI 東京公演	2009年8月	210,000人	(公演期間:3日)
			ARASHI 東京公演	2010年9月	280,000人	(公演期間:4日)
			ARASHI 東京公演	2011年9月	110,000人	(公演期間:2日)
陸	東京	夢の島公園陸上競技場	情熱大陸ライブ	2010年8月	16,000人	(公演期間:1日)
			WORLD HAPPINESS 2010	2010年8月	18,000人	野外フェス (公演期間:1日)
			情熱大陸ライブ	2011年8月	16,000人	(公演期間:1日)
			WORLD HAPPINESS 2011	2011年8月	18,000人	野外フェス (公演期間:1日)
J・陸	東京	味の素スタジアム	a-nation '09	2009年8月	100,000人	avex 主催野外フェス (公演期間:2日)
			EXILE 東京公演	2010年8月	100,000人	(公演期間:2日)
			a-nation '10	2010年8月	100,000人	avex 主催野外フェス (公演期間:2日)
			コブクロ 東京公演	2010年10月	100,000人	(公演期間:2日)

第一章 計画条件の整理

種別	所在地	会場名	イベント名	開催年度	動員数	備考
			L' Arc~en~Ciel 東京公演	2011年5月	100,000人	(公演期間:2日)
			a-nation 10th	2011年8月	110,000人	avex 主催野外フェス (公演期間:2日)
			DREAMS COME TRUE 東京公演	2011年9月	100,000人	(公演期間:2日)
			CLAMP FESTIVAL 2011	2011年9月	10,000人	アニメ・漫画関係 (公演期間:1日)
J・陸	神奈川県	日産スタジアム	GLAY 15周年記念ライブ	2009年8月	150,000人	(公演期間:2日)
			B'z 横浜公演	2008年9月	140,000人	(公演期間:2日)
			X JAPAN 横浜公演	2010年8月	130,000人	(公演期間:2日)
			EXILE 横浜公演	2010年8月	140,000人	(公演期間:2日)
			24時間テレビ特設チャリティーイベント会場	2011年8月		NNS 系列 (開催期間:1日)
			Mr.Children 横浜公演	2011年9月	130,000人	(公演期間:2日)
J・陸	新潟	東北電力ビッグスワンスタジアム	Mr.Children 新潟公演	2008年7月	40,142人	(公演期間:1日)
			EXILE 新潟公演	2010年8月	43,047人	(公演期間:1日)
J・陸	静岡県	エコパスタジアム	全国B級グルメスタジアム	2009年5月	165,000人	(公演期間:2日)
			B級グルメスタジアム	2010年5月	150,000人	(公演期間:2日)
			EXILE 静岡公演	2010年9月		(公演期間:2日)
J・サ	愛知	豊田スタジアム	EXILE 愛知公演	2010年8月 2010年9月	320,000人	(公演期間:4日)
			トヨタロックフェスティバル 2010	2010年10月	12,000人	入場料無料/野外フェス (公演期間:1日)
			Mr.Children 愛知公演	2011年9月	140,000人	(公演期間:2日)
			トヨタロックフェスティバル 2011	2011年10月	15,000人	入場料無料/野外フェス (公演期間:1日)
J・陸	大阪	長居陸上競技場	26時間テレビ特設イベント会場	2009年7月	20,000人	FNS 系列 (開催期間:1日)
			a-nation '09 関西会場	2009年8月	100,000人	avex 主催野外フェス (公演期間:2日)
			EXILE 大阪公演	2010年7月	100,000人	(公演期間:2日)
			a-nation '10 関西会場	2010年8月	100,000人	avex 主催野外フェス (公演期間:2日)
			コブクロ 大阪公演	2010年9月	100,000人	(公演期間:2日)
			a-nation 10th 関西会場	2011年8月	100,000人	avex 主催野外フェス (公演期間:2日)
			Mr.Children 大阪公演	2011年9月	100,000人	(公演期間:2日)

種別	所在地	会場名	イベント名	開催年度	動員数	備考
複	京都	山城総合運動公園 陸上競技場	京都大作戦 去年は台風でごめんな祭	2008年7月	40,000人	10-FEET 企画野外フェス(公演期間:1日)
			京都大作戦 暑いのに熱くてごめんな祭	2009年7月	40,000人	(公演期間:1日)
			京都大作戦 今年も子共に戻りな祭	2010年7月	40,000人	(公演期間:1日)
			京都大作戦 今年も楽しむ覚悟でいらっ祭	2011年7月	40,000人	(公演期間:1日)
J・陸	兵庫	ユニバー記念競技場	B'z 神戸公演	2008年9月	90,000人	(公演期間:2日)
			EXILE 神戸公演	2010年9月	90,000人	(公演期間:2日)
J・陸	広島	広島ビッグアーチ	EXILE 広島公演	2010年7月		(公演期間:2日)
			Mr.Children 広島公演	2011年8月	50,000人	(公演期間:1日)
J・陸	愛媛	ニンジニアスタジアム	a-nation 2007 四国会場	2008年7月	35,000人	avex 主催野外フェス(公演期間:1日)
			a-nation 2008 四国会場	2008年8月	35,000人	(公演期間:1日)
			a-nation 2009 四国会場	2009年8月	35,000人	(公演期間:1日)
			a-nation 2010 四国会場	2010年8月	35,000人	(公演期間:1日)
			a-nation 10th Anniversary 四国会場	2011年7月	35,000人	(公演期間:1日)
J・陸	大分	大分銀行ドーム	EXILE 大分公演	2010年8月	80,000人	(公演期間:2日)
J・陸	熊本	熊本県民総合運動公園陸上競技場	Mr.Children 熊本公演	2011年8月	38,000人	(公演期間:1日)

※種別について

J…ホームスタジアム又は準ホームスタジアムとしてJリーグの試合が行われている会場。

サ…サッカー・球技専用スタジアム。

陸…陸上競技場。

複…サッカー場及び陸上競技場以外にも複合的に利用されている会場。